

堂谷津の里 自然だより

2024年 7月



7月20日親子体験

2024. 7. 20

ヤマユリが甘い香りを漂わせています。最近では少なくなったヤマユリですが、実生株を大事にしてきたこともあり僅かですが増えているようです。梅雨明け、日中はセミの声、夜になるとホタルが飛んで、猛暑の夏本番です。近年の暑さは異常、無理することなく暑さ対策をして夏を元気に過ごしてください。



シオカラトンボ



オオシオカラトンボ



ナツアカネ



ノシメトンボ



ギンヤンマ



オニヤンマ



カブトムシ



オオヨシキリ



アカボシゴマダラ



サトキマダラヒカゲ



タマムシ



アブラゼミ



タケカレハ・羽化



ニホンカオハビ

生きものでにぎわう夏

樹液レストランはどこに！

樹液を食べ物とするカブトムシ、クワガタムシ、カナブンなどの甲虫、チョウやスズメバチでにぎわう樹液レストラン！森の中で甘酸っぱい匂いがしたらチャンス！樹液には、日中はチョウやカナブン、夜はカブトムシやクワガタムシ・ガなどが集まってきます。ただし、スズメバチも樹液を吸いに來ることがあります。見つけたらその場を離れましょう。

ホタル観賞！きれいでした

堂谷津の里で見られるホタルは、湧き水がしみだす湿地を好むヘイケボタルです。幼虫のエサはカワニナなどの貝類や水生昆虫、成虫になるためには柔らかい土の畔や土手が必要です。ホタルの発生は、ここ数年早くなっているようです。気温上昇が影響しているのでしょうか。今年はそろそろ終わりです。



<季節メモ> つる植物のたくましさ

勢いよく繁茂するつる植物。英語で“Climbing plant”日本語で“よじ登り植物”。その名の通り、枝先の吸盤でくっついたり、巻きひげで巻き付いたり、巧みな技で成長します。そんな厄介なつる植物でもその特性を生かした活用方法があります。夏の暑さを和らげる緑のカーテン、アサガオやゴーヤは、花を愛でたり、実をいただいたり、一石二鳥ですね。もしかすると地球温暖化をほんの少し食い止めているのかもしれない。困りもののクズは、人の生活を支えてきた有用な植物です。晩秋にはつるでかごを作ろうかな・・・。

写真・編集：晝間